

## 一秒でも長く、大切な人と共に

たかはし葬儀社に入社する前は飲食業界にいました。大学時代のアルバイトで長らくお世話になった飲食店にて正社員となり、キッチンからホール業務まで幅広く任せてもらいました。

なかでも救いとなったのは、「お客様からの「ありがとう」という言葉。次第に「もっと人と深く関わられる仕事に携わりたい」と思うようになり、転職を決めました。

いろんな世界を覗いてみたいと思い、さまざまな業界にエントリーをしました。でも、今でも色濃く印象に残るのはやはり「たかはし葬儀社」一択。

それまでは、勝手ながら葬儀業界に対して暗い印象を抱いていましたが、社長や社員と話すなかで確かなぬくもりを感じたのです。次第に心惹かれ、「葬祭プランナー」として入社を決意しました。

ただ、入社したての頃は若さゆえに別れの経験が少なく「お客様の気持ちに寄り添い、伴走できるのだろうか。果たして打ち解けられるのだろうか」という不安が襲いました。

それでも、信頼する先輩方からの助言や力を借りながら自身で試行錯誤し、手応えを掴めるようになったんです。

「司会、とても上手かったです」

入社ししばらくしてお客様から直接この言葉をいただけるとき、諦めずにやってきてよかったと心の底から思いました。同時に、司会業は私の強みかつ貢献できる仕事だと確信し、さらに自信を持てるように。大きなターニングポイントとなりました。

たかはし葬儀社は「命の大切さを実感できる心豊かな社会を作る」を経営理念として掲げています。

社員一人ひとりがその想いを体現し、故人様との悔いのない最期を迎えられるよう日々全うしています。

売上重視な葬儀社もあるなかで、ご遺族様一人ひとりの想いに寄り添い、悔いのない葬儀を共につくれることを幸福に思います。

お客様が真に望むことを叶え、喜んでもらえたとき、心と体がじんわりと温かくなるからです。

私は「二分一秒でも長く、故人様との時間を大切に」という価値観を大切にしています。お客様は、我々が計り知れない悲しみを抱きながらも、現実的には葬儀の準備や会葬者の対応に追われるなど、心身共に忙しい時間が訪れます。

私はその負担を肩代わりし、お客様には少しでも多くの時間を故人様と分かち合っていたきたい。そんな想いを胸に日々尽力しています。

これからも「あのお葬式で最期を迎えられてよかった」とご遺族様に思ってもらえるよう、一つひとつの葬儀を丁寧に向き合っていきたいです。その積み重ねがきっと、心豊かな社会に繋がると信じて。



The Philosophy of TAKAHASHI SOUGISHA

あなたと共に生きる

# Ryuto Ono